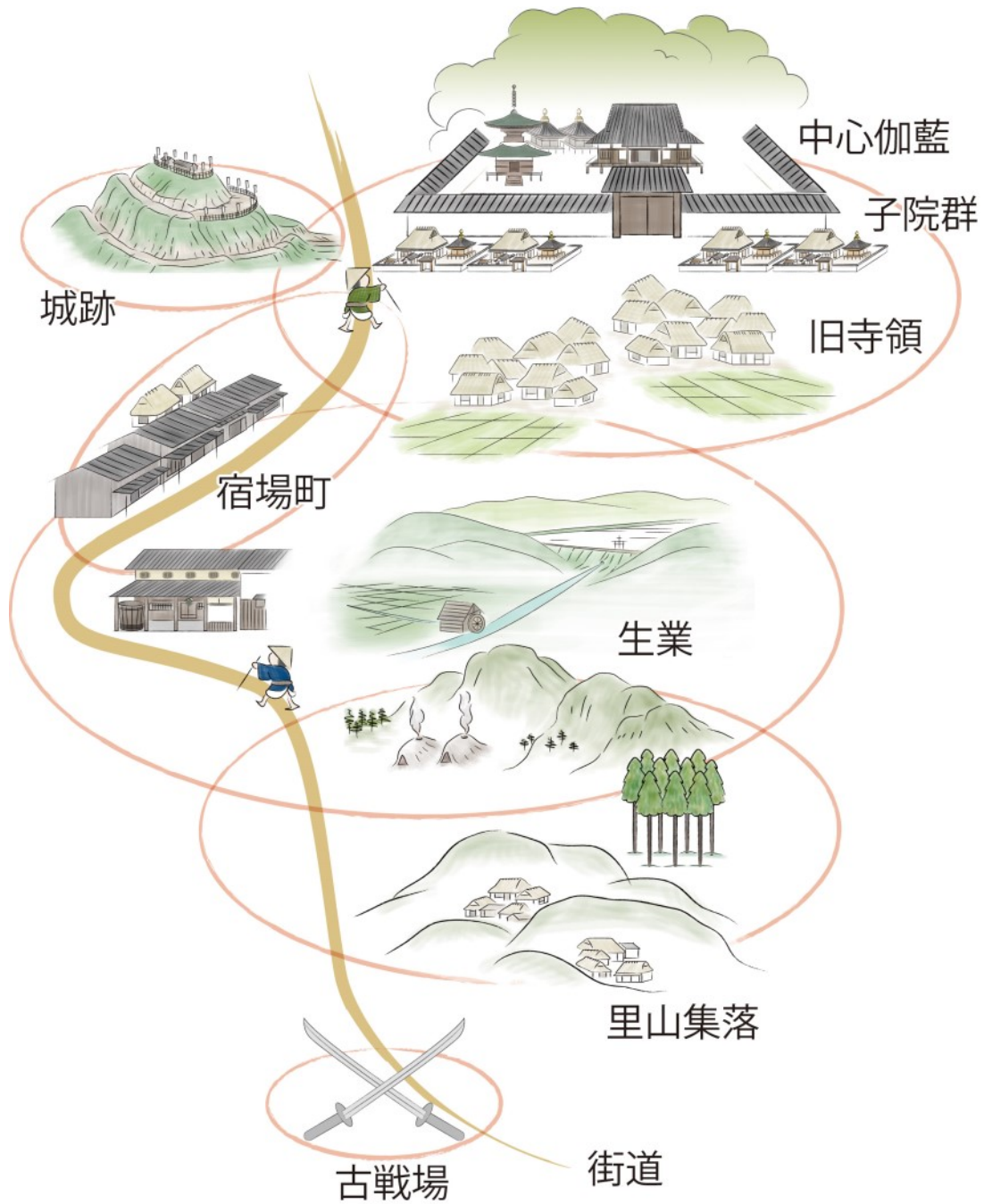


第2次

河内長野市文化財保存活用地域計画

(概要版)



令和8（2026）年3月
河内長野市教育委員会

この計画の目的ってなに？（序章）

人口減少が進む中で、さまざまな立場の人々の参画を得て、歴史文化遺産の調査、保存継承、活用を進めるための計画です。本計画の推進により、社会課題の解決、ウェルビーイングの実現に貢献します。

令和8(2026)年度～令和17(2035)年度の10年間に様々な分野で事業を進めます。



河内長野市ってどんなところ？（第1章）

【どこにあるの？】

大阪府の東南の隅にあり、奈良県、和歌山県にとなりあっています。市域の面積は109.63km²あり、7割は森林が占める自然豊かなまちです。

【地形】

金剛山地・葛城山脈があり、これらの間を河川（石見川、天見川、加賀田川、石川、西除川（天野川））が流れ、谷と河岸段丘が形成されています。



【歴史】

旧石器時代から人々が生活していましたが、中世になると高野参詣の道が本市を通るようになり、観心寺や金剛寺などの大規模寺院が成立したことで、大いに発展しました。近世では、高野街道の駅があり栄えました。近代には、鉄道の敷設などが進み、戦後は多くの開発団地ができました。



観心寺境内



金剛寺境内

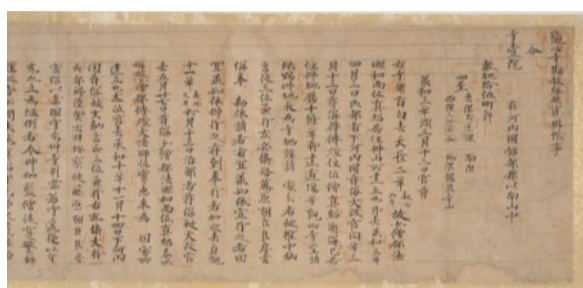


三日市宿

河内長野市の歴史文化遺産ってすごいね！（第2章）

国宝8件、重要文化財77件をはじめ、非常に多くの指定文化財が市内にあります。

年代は中世、内容は信仰に関するものが多く、観心寺、金剛寺、高野街道沿いの寺社で、これらが所有されています。



国宝 観心寺縁起資財帳

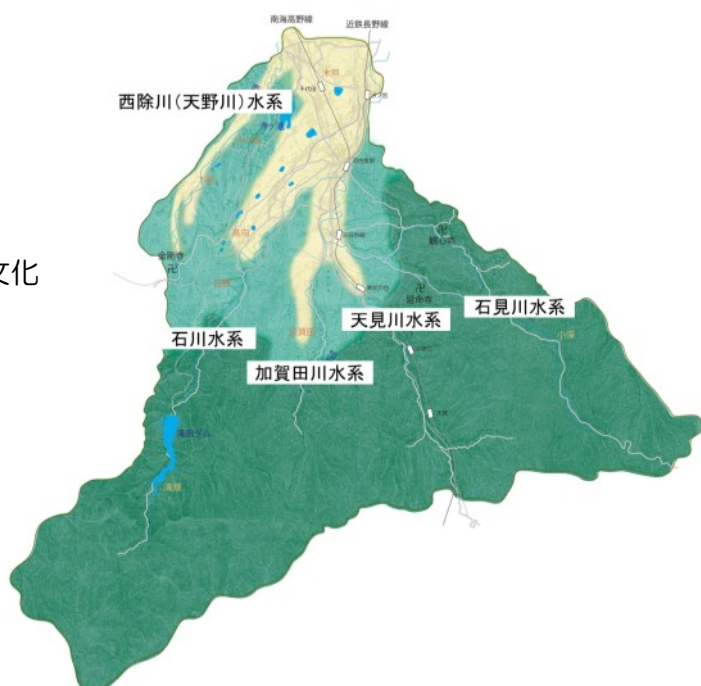
令和7（2025）年8月現在の指定文化財数

類型		国指定等	府指定	市指定	国登録	市選定	市登録	計	
有形文化財	建造物	18	3	8	30	—	0	59	
	美術工芸品	絵画	7	0	11	0	—	0	18
		彫刻	36	6	19	0	—	0	61
		工芸品	11	2	3	0	—	0	16
		書跡・典籍・古文書	13	2	4	0	—	0	19
		考古資料	0	1	2	0	—	0	3
		歴史資料	0	0	1	0	—	0	1
無形文化財		0	0	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	6	0	—	0	6	
	無形の民俗文化財	0	0	6	0	—	0	6	
記念物	遺跡	3	1	1	0	—	0	5	
	名勝地	0	2	1	0	—	0	3	
	動物・植物・地質・鉱物	0	5	2	0	—	0	7	
文化的景観		0	—	—	—	—	0	0	
伝統的建造物群		0	—	—	—	—	0	0	
選定保存地域		—	—	—	—	4	—	4	
小計		88	22	64	30	4	0	208	

ここが河内長野市の歴史文化の特徴！！（第3章）

5つの河川系に沿った河岸段丘と谷部に伝統的なコミュニティがあります。各河川系は、中世に開発が進み、その中で村落が生まれ、それぞれ独自の文化が展開しました。

- ① 観心寺の寺領、石見川水系の歴史文化
- ② 高野参詣道となった天見川水系の歴史文化
- ③ 葛城修験の霊場、加賀田川水系の歴史文化
- ④ 中世荘園高向庄の景観がのこる石川水系の歴史文化
- ⑤ 天野山金剛寺の寺領、天野川水系の歴史文化



これまでに行ってきた取り組み（第4章）

第1次計画（令和元（2019）年12月～令和8（2026）年3月）では、調査は不十分な面があるものの、指定・登録文化財の修理・整備は実施できました。また、コロナ禍の時期を除いて、歴史文化遺産の活用を実施しました。

歴史文化遺産の将来像（第5章）

歴史文化遺産の価値を多様な人々と共有し、保存と活用の裾野を広げていくことが必要となります。これを踏まえ、「目指す将来像」を次のとおりおかげます。

「多様な人々が関わり合いながら、歴史文化遺産を学び、伝え、活かすまち」

これからの方向性と取り組み（第6・7章）

方向性1 調査研究の推進(調査研究)

歴史文化遺産の把握調査や詳細調査を進め、歴史文化遺産の相互関連性の調査研究や埋蔵文化財発掘調査等も実施します。

発掘調査の様子



方向性2 確実な保存・継承の実施 (保存・整備・継承支援)

歴史文化遺産の維持管理や保存修理を推進し、展示・収蔵施設の改修・整備、史跡整備等も推進します。この他、人材確保・育成等も行います。

文化財修理の様子



方向性3 歴史文化遺産を活用した人づくり (教育分野での活用)

学校や社会教育施設と相互に連携して、歴史文化遺産の教育分野における活用を充実させていきます。専門職員による出張授業等を行います。

出張授業の様子



方向性4

歴史文化遺産を活用した地域の活性化

(観光分野での活用)

ボランティアの人材育成などを行い、本市独自の歴史文化遺産の魅力発信によって交流人口を拡大し経済効果を喚起していきます。

また、他市と連携した歴史文化遺産の市外への魅力発信による交流人口の拡大と経済効果の喚起などを行っていきます。



市外での魅力発信イベント

方向性5

歴史文化遺産を活用した住民活動の推進

(地域づくり分野での活用)

幅広い住民団体と連携して、歴史文化遺産の活用を推進していきます。

また、テーマ型の住民団体と連携した歴史景観保全の推進などを行い、幅広い目的を持った歴史文化遺産の保全・活用に関する活動を支援していきます。



地域まちづくり協議会による
児童への歴史文化遺産の解説



調査・研究によって歴史文化の魅力を発見して、みんなの力で保存・継承することで、持続可能な歴史文化遺産の活用ができるようになるんだよ。

そうして、いろんな悩み事の解決のために、歴史文化遺産を活かしていこうよ。

歴史文化遺産は関連しあっている！（第8章）

歴史文化遺産は、共通の歴史的ストーリーから生み出された複数のものが自然環境とも関連しあって存在しています。このような関連性によって地域の多種多様な歴史文化遺産を一定のまとまりとして捉えたものを関連遺産群とし、ストーリーを活かした活用を行います。

関連遺産群1 観心寺と旧寺領に関連する歴史文化遺産

観心寺は、境内に多くの子院が建ち並び、周囲の寺領を支配していました。この状況を伝える歴史文化遺産があります。

■ 主な歴史文化遺産

観心寺金堂、観心寺縁起資財帳、観心寺境内 等

■ 主な取り組み

小学生による子ども文化財解説、探究学習、公開 等



関連遺産群2 高野参詣に関連する歴史文化遺産

中世以降、高野参詣が続き、多くの人々が往来し、現在でも往時を忍ばせる古道の景観が伝わっています。

■ 主な歴史文化遺産

長野神社本殿、木製 三日市宿高札、三日市宿跡 等

■ 関連遺産群を活用した主な取り組み

保存継承活動推進事業

講演会・シンポジウム・展示事業 等



関連遺産群3 旧石清水八幡宮領甲斐庄に関連する歴史文化遺産

石清水八幡宮の荘園であったこの地には、かつての歴史を伝える歴史文化遺産と里山景観が広がっています。

■ 主な歴史文化遺産

八幡神社本殿、八幡神社の勧請縄かけ 等

■ 関連遺産群を活用した主な取り組み

地域の景観保全推進事業

関連遺産群をテーマとした郷土歴史学習 等



関連遺産群4 葛城修験の霊場に関連する歴史文化遺産

修験道の行場として古くに開かれた葛城山には、関連する寺院や行場が伝わり、現在でも修験者による巡拝が続いています。

■ 主な歴史文化遺産

岩湧寺多宝塔、木造大日如来、岩湧山のカヤ 等

■ 関連遺産群を活用した主な取り組み

関連遺産群調査・研究事業、観光促進事業 等



関連遺産群5 高向庄に関連する歴史文化遺産

かつて皇族の荘園、高向庄が広がっており、古い絵図に描かれた寺社や水路・古道が現在へ伝わっています。

■ 主な歴史文化遺産

高向神社本殿、高向遺跡 等

■ 関連遺産群を活用した主な取り組み

関連遺産群をテーマとした郷土歴史学習

歴史文化遺産特別公開事業 等



関連遺産群6 金剛寺と旧寺領に関連する歴史文化遺産

金剛寺は、かつて境内都市とも言われ、このことを示す多くの歴史文化遺産が現在に伝わっています。

■ 主な歴史文化遺産

金剛寺金堂、紙本著色 日月四季山水図 等

■ 関連遺産群を活用した主な取り組み

小学生による子ども文化財解説

中学、高等学校による探究学習

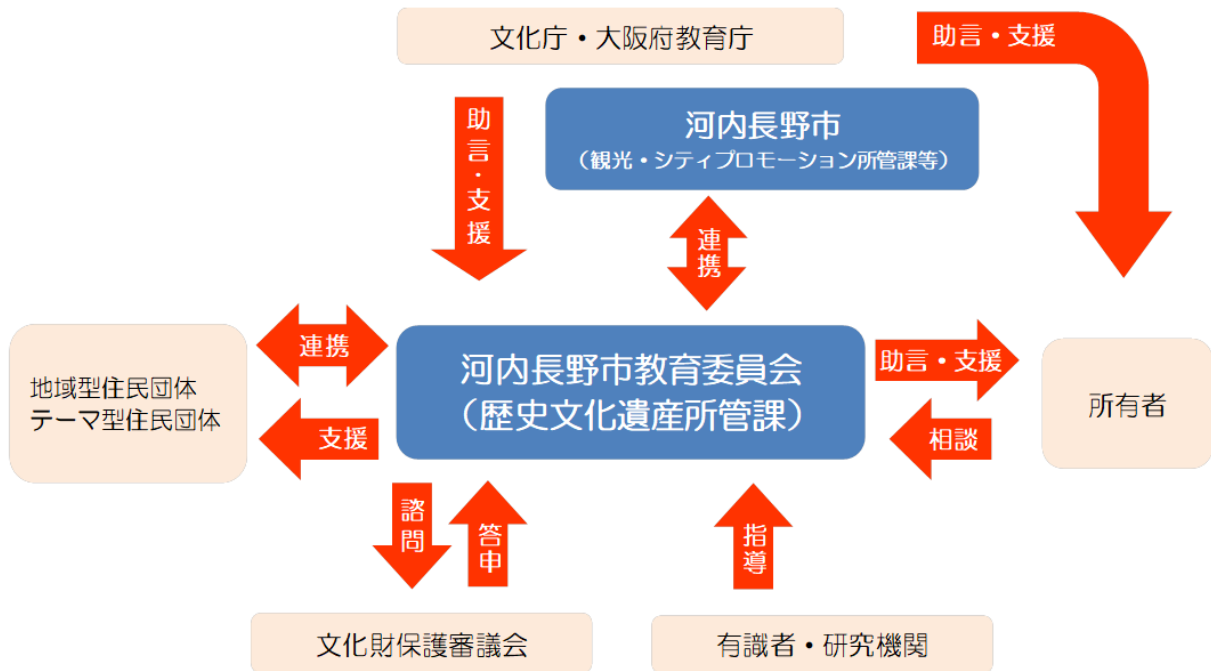
歴史文化遺産の公開

観光促進事業 等

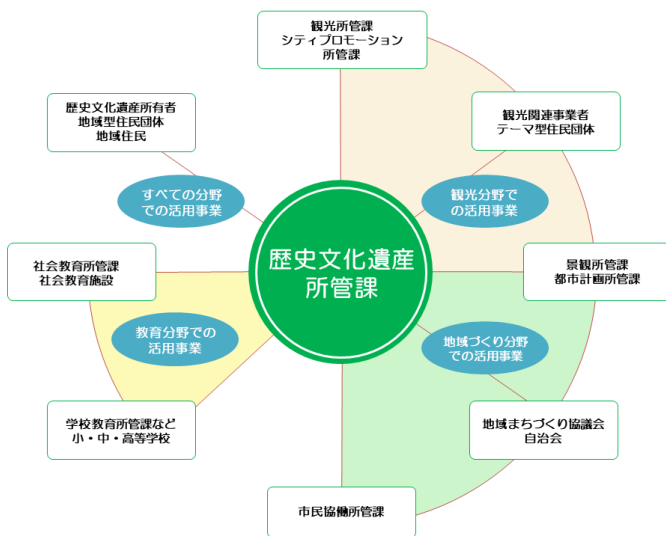


事業を効果的に進めるには、、、（第9章）

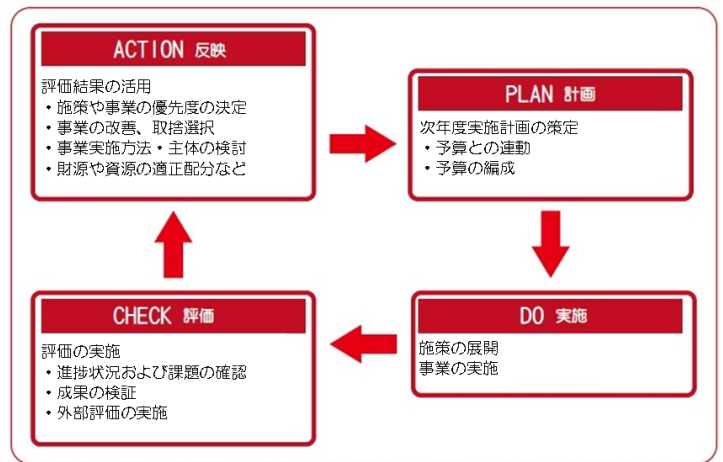
本計画で定めた事業を効果的に進めるには、庁内関係部署との連携、歴史文化遺産所有者、そして地域型、テーマ型の様々な市民団体との連携が重要になります。また、事業の進捗はPDCAサイクルによる進行管理を行います。



【庁内連携などの体制】



【歴史文化遺産所有者・住民団体との連携】



【PDCAサイクルによる進行管理】

みんなで力をあわせて歴史文化遺産を継承し、活用することで、「人とひとのつながり」や「人と地域のきずな」がどんどん生まれて、広がっていくといいね！！

